

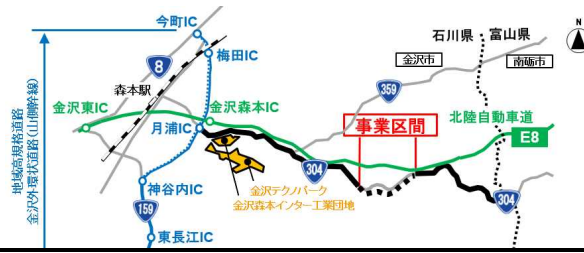
再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・技術課

担当課長名：奥村 康博

事業名	地高 I C アクセス 一般国道304号 <small>しみずだに</small> 清水谷バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	石川県	
起終点	自：石川県金沢市古屋谷町 <small>かなざわ ふるやだにまち</small> 至：石川県金沢市清水谷町 <small>かなざわ しみずだにまち</small>			延長	1.5 km	
事業概要	一般国道304号は、金沢市と富山県南砺市を結ぶ幹線道路であり、地域高規格道路金沢外環状道路（山側環状）の月浦 I C と金沢テクノパーク・金沢森本インター工業団地の物流センターを結ぶ一次アクセス道路である。当該区間において、バイパス整備による狭隘箇所・急カーブといった交通のネックを解消し、I C アクセス向上により物流の効率化を図る。					
H27年度事業化	都市計画決定なし		H28年度用地着手	H29年度工事着手		
全体事業費	約33億円	事業進捗率	52%	供用済延長	— km	
計画交通量	3,500台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.04	総費用 (残事業/事業全体)	20/34 億円	総便益 (残事業/事業全体)	35/35 億円
	(残事業)	1.7	事業費：19/33 億円 維持管理費：1.2/1.2 億円	走行時間短縮便益：31/31 億円 走行経費減少便益：3.1/3.1 億円 交通事故減少便益：1.0/1.0 億円	基準年：令和元年	
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C=0.97~1.1(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.6~1.9(交通量 ±10%) 事業費：B/C=0.98~1.1(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.6~1.9(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.02~1.1(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.7~1.8(事業期間±20%)					
事業の効果等	①緊急輸送道路としての機能強化 被災や除雪等による北陸自動車道及び国道8号通行止め時の代替路としての機能強化に寄与 ②安全・安心な交通の確保 通過交通を排除することによる地域住民の安全・安心の確保 ③地域経済活性化 金沢外環状道路（山側幹線）の月浦ICと一体となって整備することで、金沢市森本地区の工業団地への企業進出及び地域の経済活動の支援に寄与					
関係する地方公共団体等の意見	・一般国道304号道路整備促進期成同盟会（会長：富山県南砺市長、副会長：石川県金沢市長、岐阜県白川村長）等から本事業の早期完成の要望活動が行われている。					
事業評価監視委員会の意見	事業継続を妥当と認める					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・国道304号沿線の金沢テクノパークや金沢森本インター工業団地において多数の企業が進出し、国道304号の交通量が増加。(H22)3,100台/日 ⇒ (H27)3,300台/日 ・平成29年12月に金沢外環状道路山側幹線の東長江IC～神谷内IC間の4車線化が完成。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率約100%、事業進捗率約52%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地の取得が完了しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等	切土によって発生した残土の有効活用を図り着実なコスト削減に努める。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。